

科目名	福祉行財政と福祉計画						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	後期	単位数	2単位
担当教員	栗原 永明						

内容および計画	<p>教科書は「行政による福祉活動の仕組み」を解説したものです。社会福祉士や保育士として働く人は、仕組みを「説明する人」として当然に、その全体を承知していなければなりません。また、この仕組みは、社会福祉士や保育士の働き方を決めてしまうものであり、生活する人の暮らし方を決めてしまうものであることも知っていなければなりません。このため講義では、教科書を使って「仕組みの中で使われている言葉」を理解し、仕組みの成り立ち及び可能性と限界について考えます。</p> <p>同時に、社会福祉士や保育士として働くときの相手について考えます。テーマは「人は何でできているか。人はどうやって大人になるか」と「人は何によって動くか」の二つです。それは「隣の人」や「自分」がどのような生き物なのかを考えることにもなります。その上で、人と社会との関係を考えるところまで進みます。</p> <p>講義は、各自が自分の視点・スタンス・到達目標等々の暮らしていくための基盤をつくることを意図しています。その手段として、1～2回のレポート提出を課します。</p>
1	オリエンテーション
2	人と社会(1)
3	" (2)
4	" (3)
5	" (4)
6	制度と家族(1)
7	" (2)
8	福祉行政(1)
9	" (2)
10	福祉財政(1)
11	" (2)
12	組織・団体と専門職(1)
13	" (2)
14	福祉計画(1)
15	" (2)

教科書	タイトル	『福祉行財政と福祉計画』(第2版)		
	著者名	杉岡直人(編)	出版社	(株)みらい
	ISBN	9784860153922	発行年	2016

参考書	
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	出席状況・受講態度		40%
	レポート(1～2回)		60%

学習到達目標	基本的な知識と現状とを理解する。仕事をするうえで、あるいは暮らしていくうえで、福祉行財政や福祉計画をツールとして使いこなすための感覚を身につける。
--------	---

先修条件	
------	--

その他	
-----	--